



紙に命を吹き込む

1月8日(月)、用瀬図書館で「たのしいおりがみづくり」が開催されました。昔懐かしい折り紙作りを体験してもらおうと毎年開催されているこの教室に、今年子どもからお年寄りまで幅広い年代が参加。8回目となる今回は、今年の干支、亥いのししやカメ、ウサギなどの動物をテーマに折りました。参加したみなさんは、「ちょっとした工夫で立体的に、より本物らしく見せるコツ」などを講師の先生に教わりながら、思いおもいに動物を折り上げていました。

福部町高江

1年の健康はマラソンにあり

1月1日(月)、恒例の新春マラソンが福部小・中学校グラウンドで行われました。友達や家族連れなど約50人の参加者は、健康で1年を過ごせるよう願いを込め、体力に応じてジョギングやウォーキングで新年のスタートを切りました。心地よい汗をかいた後は、ジャンケンゲームやお年玉のプレゼントが行われ、参加者は楽しいひと時を過ごしました。



市民会館

環境にも財布にも優しいフリマ

12月24日(日)、市消費者団体連絡協議会主催のフリーマーケットが市民会館で開催されました。これは、同会が消費生活の改善と資源の節約を目的として、昭和50年から毎年8月、12月の年2回開催しているもので、今回で64回目。会場には、家庭で不要になった衣類や食器が出品される生活用品即売コーナーと、生産農家の新鮮な野菜を安価で販売する農産物等即売コーナーに商品が所狭しと並び、大勢の来場者で賑わいました。また、毎回大好評の「傘の骨直し」コーナーでは、骨の曲がった傘が次々と手際よく修理され、来場者に喜ばれていました。



気高町酒津

伝統の民俗行事「酒津のトンドウ」

1月13日(土)・14日(日)、気高町酒津地区で伝統の「酒津のトンドウ」が行われました。このトンドウは、地区内の男子児童がパンツ1枚になり、地区内各戸の玄関前で「もく」と呼ばれる海草を振りまわしながら「禊はらいたまえ、清めたまえ」と唱えて回る行事で、今年は13人が参加。1軒清めるごとに海岸まで行き海水で体を清め、トンドウを3回まわって次の家を清めに走りました。あまりの寒さに、小さな子は途中で動けなくなってしまうこともあるとのことですが、みんなで力を合わせ「ワッショイ、ワッショイ」と声を掛け合いながら、1時間半ほどで集落内の170世帯全てを清めました。



あおや和紙工房

世界に一つだけのたこ凧を作ろう

1月14日(日)、あおや和紙工房で「凧づくり教室」が開催され、地元の小学生など6人が参加。鳥取県の伝統的な凧「倉吉イカ」を作っている倉吉市の黒川哲夫くろがわてつおさんの指導の下、凧づくりに挑戦しました。参加者は、それぞれが青谷の因州和紙に好きな絵を描いた後、黒川さんから指導を受けながら竹ひごを組み付け、完成させました。あいにくの雨で屋外での凧揚げはできませんでしたが、室内を走り回るだけでもぐんぐん上がる立派な凧ができました。

